

## 11 月定例月議会における議案に対する意見募集に寄せられた意見

総件数 33 件

(内訳)

No.1 中心市街地拠点施設整備事業費(可能性調査検討経費)(補正予算) … 30 件

No.2 楠地区認定こども園設計業務委託費(債務負担行為)について … 1 件

No.3 四日市市税関係手数料条例の一部改正について(議案第 60 号)及び四日市市戸籍関係等手数料条例の一部改正について(議案第 61 号)並びに四日市市印鑑条例の一部改正について(議案第 62 号) … 2 件

No.4 四日市総合体育館の設置及び管理に関する条例の制定について(議案第 67 号)  
… 0 件

\*合計 30 人 ・男性 18 人(内訳: 30 歳代 1 人  
40 歳代 7 人  
50 歳代 4 人  
60 歳代 4 人、  
70 歳以上 2 人)  
・女性 9 人(内訳: 30 歳代 1 人  
40 歳代 3 人  
50 歳代 1 人  
60 歳代 4 人)  
・不明 3 人

\*一人あたりのご意見件数

3 件の議案にご意見をいただいた方が 1 人

2 件の議案にご意見をいただいた方が 1 人

1 件の議案にご意見をいただいた方が 28 人

## 11 月定例会議会における議案に対する意見募集に寄せられた意見

No.1 中心市街地拠点施設整備事業費（可能性調査検討経費）（補正予算）	
総務常任委員会	<p>1</p> <p>アセットマネジメント条例を可決された市議会議員の皆さん。 まさかとは思いますが、舌の根も乾かないうちに、まだまだ使える頑丈な四日市市立図書館を取り壊して、移転するなんて言わないですよ。</p> <p>アセットマネジメント条例は、基金の積み立てと併せて、使える建物を丁寧に修繕して、できるだけ長く使うという趣旨ですよ。</p> <p>市役所本庁舎と同じ、昭和 47 年～48 年に建った、四日市市立図書館。市役所本庁舎と同様に、まだまだ使えます。市立四日市病院のように、内装をリフォームしたら、おしゃれな図書館に生まれ変わりますよ。</p> <p>少し狭いので、増築も必要な。今の建物の南側に増築して、J A 葬祭場跡地を、図書館と文化会館の共通の立体駐車場にできたらいいですね。図書館も文化会館も駐車場が足りなくて困っているから。</p> <p>とにかく、今の図書館を取り壊して移転するのは大反対！税金のムダ使いです!!（40 歳代 女性）</p>
総務常任委員会	<p>2</p> <p>近鉄四日市駅・市庁舎東広場・J R 四日市駅の 3カ所だけを新図書館の候補地とするのは間違っている。なぜなら、どの候補地も現在の図書館から遠くなり、図書館利用者を泣かせるものだからである。羽津・海蔵・三重・神前・常磐・川島・桜・四郷・日永等々、新図書館が遠くなる地区は沢山ある。なぜこれらの地区の人々から図書館を取り上げて遠くへ持っていくのか。31 万人の四日市市民は、現在の図書館より西側に多くが住んでいる。206 平方キロメートルの市域は、現在の図書館より西側に多くが広がっている。四日市市民の分布や四日市市域の広がりを考えたら、現在の図書館を東側へ移転するのは間違っている。</p> <p>新図書館の候補地を比較するなら。現在の図書館の場所や、現在の図書館より西側の場所も比較すべきである。特に現在の図書館は、隣に久保田公園があり、図書館敷地と公園敷地を合わせて、一体的に再開発できる。さらに隣の J A 葬祭場跡も合わせて再開発すれば、かなり良い図書館ができる。近鉄や J R と交渉ができるなら、J A とも交渉ができるはずである。</p> <p>新図書館の候補地に、現在の図書館を必ず加えてほしい。（40 歳代 男性）</p>

<p>総務常任委員会</p>	<p>3</p>	<p>議案に示された3カ所の候補地が、なぜ新図書館に適しているのかという説明が、全く示されていない。駅に直結していれば、なんでも良いわけではない。</p> <p>四日市市内を発着する移動の6割5分が自動車である。鉄道とバスは合計しても1割にしかすぎない。(出典：四日市市都市計画マスタープラン全体構想基礎資料)</p> <p>たった1割の鉄道・バス移動者のために、図書館を駅直結エリアに移転して、そんな場所には、図書館利用者専用の駐車場など造れるわけがなく、6割5分の自動車移動者は、図書館が大変利用しづらくなる。</p> <p>こんなに犠牲者が大量に出る図書館政策は明らかに間違っている。</p> <p>今の図書館は、鉄道・バス利用者にも、自動車利用者にも、優しい、バランスのとれた場所にある。市立図書館前というバス停には、7路線ものバスが走り、近鉄四日市駅から徒歩12分の場所にある。市役所や文化会館が、近鉄四日市駅から徒歩10分だから、鉄道利用者にも十分配慮された場所にある。</p> <p>自動車利用者を敵視するのではなく、自動車利用者も、鉄道・バス利用者もハッピーになれる場所に新図書館を整備すべきであり、それは現在の図書館がある場所がふさわしい。現在の図書館の場所もこの予算で調査検討すべきである。</p> <p>(30歳代 男性)</p>
<p>総務常任委員会</p>	<p>4</p>	<p>本議案に反対する。なぜなら、議案に示された3カ所とも図書館に不適切だからである。近鉄四日市駅は、近鉄百貨店の駐車場に入る車で長蛇の列ができており、こんな所に図書館を造ったら、車を停めるだけでかなり待たされる。鉄道やバスを使えばいいというのは机上の空理空論である。江戸時代の生活に戻ったら、エコな生活ができると言っているのと同じくらい、非現実的で無責任な政策である。市長や議員は車で移動するのに、なぜ図書館利用者は車を使ってはいけないのか。図書館利用者の7割は車で来館するのに、なぜ車で来ることが不便な図書館を造ろうとするのか。7割の利用者が不便なる政策を押し進めようとする、市民無視の議案には、絶対反対である。この議案に賛成する議員は車を使ってはならない。なぜなら、車利用者が泣きを見る、議案の3カ所に図書館を移転しようとするからである。市庁舎東広場も、中央駐車場に長蛇の列ができており、こんな所に図書館を造ったら、車を停めるだけで、かなり待たされる。JR四日市駅など言語道断で、なんであんな遠い所まで行かないといけないのか。車でも遠いのに、近鉄を使って歩く市民には絶望的に遠い。近鉄四日市駅から現在の図書館まで歩いて12分。近鉄四日市駅からJR四日市駅まで歩いて15分。現在の図書館よりも、近鉄四日市駅まで遠い場所の図書館を移転させて一体、何がしたいのか。図書館利用者をそんなに泣かせたいのか。</p> <p>図書館利用者を、こんなにいじめる市長は、今まで見たことがない。議員の皆様には、こんなにひどい議案には絶対に賛成しないでほしい。</p> <p>(60歳代 男性)</p>

<p>総務常任委員会</p>	<p>人口 31 万人都市の中央図書館は、約 1000 m<sup>2</sup>の床面積が必要なのに、市庁舎東広場のような狭い場所で中央図書館を計画できるのか疑問でした。案の定、3階から 8 階までを図書館とする基本計画が出来上がり、こんなに階層が分かれるのであれば、図書館利用者も図書館従業員も大変な不便を被ることが実証されました。</p> <p>近鉄四日市駅直結エリアで図書館を造ろうとすれば、西口駅前広場しかなく、そこは市庁舎東広場よりも狭くなります。図書館利用者や図書館従業員にとって、もっともっと使いづらい図書館になります。</p> <p>近鉄四日市駅直結エリアに造るのは、中央図書館ではなく、市民窓口サービスセンターのような図書館の出先機関（分館）でよいと考えます。</p> <p>5 近鉄四日市駅から歩いて 10 分の所に市役所があるけど、近鉄四日市駅の中に市民窓口サービスセンターがあり、そこでも戸籍等が取れる。</p> <p>同じように、近鉄四日市駅から歩いて 12 分の所に四日市市立図書館（中央図書館）があるけど、近鉄四日市駅直結エリアに図書館分館があり、そこでも図書の貸し借りや閲覧ができる。</p> <p>そんな形であれば、スターアイランドの空き店舗を 1 つの階に集めてきて、そこに図書館分館を造ることができます。すでに建物や建物設計図がある所に、図書館分館を造るのですから、2 年間で 650 万円もの調査費はいりません。</p> <p>今回の補正予算は無しにして、スターアイランドの中に図書館分館を造り、最少の費用で最大の効果を生んでください。（40 歳代 女性）</p>
<p>6</p>	<p>四日市市は、市民の意見をとことん無視するのですね。失望しました。</p> <p>昨年、図書館を市庁舎東広場へ移転することにあんなに大反対があったのに、その旗を下さないどころか、もっともっと遠い J R 四日市駅へ移転しようだなんて、市民の気持ちを無視し、逆なでし、足蹴にしています。</p> <p>こんなひどい議案を提案する市長には、もう投票しません。</p> <p>良識ある市議会議員の皆さんで一致団結して、否決してください。</p> <p>こにゅうどうくんの投票で頑張っって一日十票以上投票したのに、図書館で裏切られました。住みよい四日市市のために、市民に不便を押しつけない四日市市のために、一致団結して否決してください。</p> <p>私は市長ではなく、市議会議員の皆さんを応援しています。（30 歳代 女性）</p>

<p>総務常任委員会</p>	<p>7</p>	<p>候補地3か所のうち、1か所は図面作成済みだから、2か所について4案ずつ、合計8案の図面を、2年度に跨って、合計6,500千円かけて作成する、今回の補正予算案。</p> <p>つまり、JR四日市駅に図書館を造れるかを検討するために3,250千円かける。</p> <p>これは税金の無駄使いです。血税をドブに捨てないでください。</p> <p>図書館をJR四日市駅へ移転するなんて、9割以上の市民が反対します。なぜなら、9割以上の市民にとって図書館が遠くなり、図書館が利用しづらくなるからです。</p> <p>9割以上の市民が反対して実現性のないプランを検討するために、3,250千円も使わないでください。</p> <p>図書館をJR四日市駅へ移転することが、市民の理解を得られないことは四日市市民がどこに住んでいるかを考えれば、一瞬でわかることです。</p> <p>歩く人、自転車・自動車に乗る人、鉄道・バスを利用する人、どんな交通手段でも、9割以上の市民は現在の図書館より、図書館が遠くなるのです。</p> <p>(JR関西線沿いの人は図書館が近くなるとの反論に対しては、これらの人には並行する近鉄名古屋線やあすなろう鉄道があり、近鉄四日市駅へ出ることが容易であると再反論します。)</p> <p>9割以上の市民が反対することのプラン作りに3,250千円も使わないでください。(40歳代 男性)</p>
	<p>8</p>	<p>この議案は閑散としているJR四日市駅に人を集めたいのだろう。意図は分かるが、手段が間違っている。</p> <p>図書館は教育施設である。それも、0歳の赤ちゃんから、人生最期の時まで学び続けようとする高齢者まで参集する、全年齢型の教育施設である。</p> <p>寂れている場所があるから、0歳の赤ちゃんから余命いくばくもないお年寄りまで、遠くのJR四日市駅まで、はるばるやって来いなどというのは、市民の学習意欲を人質にとった暴挙であり、悪政の最たるものである。</p> <p>そんなにJR四日市駅に人を呼びたいなら、まず市長がJR四日市駅の空きスペースに店を出しなさい。コンビニとフランチャイズ契約を結び、アルバイトを雇えば、すぐに始められる。</p> <p>そんな努力もせず、学ぼうとする31万市民を無理やり、JR四日市駅まで足を運ばさせようというこの議案は、市民の弱みに付け込んだ、天下の悪法ならぬ悪予算である。</p> <p>悪代官の企みに、正義の味方の市議会から「ノー!!」を、突きつけてください。(60歳代 男性)</p>

<p>総務常任委員会</p>	<p>9</p>	<p>2か所の新たな候補地について、図面を作り、関係者と協議を行うとあるが、どちらの候補地も、新図書館の実現性に乏しく、両場所での図面作成に、2か年で650万円も投じるのは反対である。</p> <p>「近鉄四日市駅直結エリア」…近鉄百貨店や同店立体駐車場がすでに建っており、西口広場しか建築余地がない。西口駅前広場は、人口31万人都市の図書館としては狭い敷地であり、書架が何階にも分かれた使い勝手の悪い図書館になる。また、図書館利用者のための新たな駐車場を設ける余地はなく、近鉄百貨店立体駐車場は、土日はほぼ満車のため、図書館利用者の7割を占める自動車での来館者を締め出すことになる。</p> <p>「JR四日市駅直結エリア」…JR四日市駅前広場やJR四日市駅舎は、中央通りを港方面へ延伸する際の道路空間になる。もしここに図書館を建てたら、中央通りを港へ延伸することが不可能になり、将来に禍根を残す。中央通りの港への延伸は、都市計画決定こそされていないが、四日市市政の長年の課題であり、先人達が様々な努力をしてきた。JR貨物駅を現在の場所に残すにしても、高架構造でJR四日市駅上空を越えていくことが可能であり、中央通りの高架橋脚が建つべき場所に図書館を建ててしまったら、四日市は本当に発展性を失ってしまう。国道164号線や諏訪新道がJR関西線の踏切で止められて、踏み切り待ちの車列が国道23号線まで伸びて、国道23号線から国道164号線や諏訪新道へ右左折できないことが多い。</p> <p>この問題を解決するためには、中央通りを一刻でも早く、高架構造でJR四日市駅の上を越えて、国道23号線につなぐことが必要であり、中央通りが伸びてゆくJR四日市駅前広場やJR四日市駅舎に、図書館を建ててしまっはならない。JR四日市駅の活性化は、図書館ではなく、中央通りの延伸で行うべきである。(性別、年代未記入)</p>
	<p>10</p>	<p>問題点1…図書館の現在地での建て替えを比較していない。          問題点2…現在の図書館の延命を比較していない。          問題点3…現在の図書館の増築、敷地買い増しを比較していない。</p> <p>1の説明…小中学校は現在地での建て替えが基本なのに、なぜ図書館は現在地で建て替えないのか。仮校舎の設置など、現地建て替えのノウハウはあるはず。</p> <p>2の説明…昭和48年建築の鉄筋コンクリート造の図書館は、まだまだ延命可能。延命工事と内装リフォーム工事で、最新設備の図書館に生まれ変わる。アセットマネジメント基金条例を制定したのだから、公共施設は延命を第一優先で考えるべき。</p> <p>3の説明…現在の図書館の敷地は約4,000㎡あり、指定容積率は300%だから、</p>

	10	<p>床面積約 12,000 m<sup>2</sup>の建物を建てることできる。また、隣接する久保田公園を使って増築し、現在の図書館駐車場を新しい久保田公園として整備する方法もある。また、旧 J A みえきた虹のホール敷地を買い増しして、不足している文化会館の駐車場も兼ねる図書館駐車場とする方法もある。</p> <p>結論…近鉄や J R と協議するための図面を、2 か年で 650 万円もかけて作るのであれば、図書館の現在地での建て替えや、現在の図書館の延命や、現在の図書館の増築・敷地買い増しを、その予算を使って検討すべきだ。公共施設の良好なストックを大切にしない、本議案には反対である。(性別、年代未記入)</p>
総務常任委員会	11	<p>6月のまち歩きで感じたことを述べたいと思います。参考になれば幸いです。</p> <p>このD地区に割り当てられましたところですが、ここは飲み屋街なので通り過ぎるだけでしたが、40年前にはもう少し活気がありました。この事は当時は商店街という構成があり、庶民が利用していた生活環境がありました。</p> <p>現在ではマンションや各企業のビジネスの進出による商業圏に変貌している事から住民が見られなくなったと思いますが、2時間になるまち歩きであったが、住民は本当に少なかったです。店も閉店なのかどうかともわかりませんが、食事をするにも店を探すのに大変苦労しました。</p> <p>一番最初に J R 駅へ行きましたが、時間待ちのバスが2車待機していました。客待ちは数人だけで広い構内には駐車している車が見当たりません。目立ったのは草が生えて緑が目立っていましたが、緑化の為か放置してあるのか分かりません。中に入りましたが店は閉店している。前は食堂や会議室などがあり、利用されていたと思いますが、現在の閉鎖されて、これが四日市の玄関口と言う印象でした。何処かの田舎駅と言う感じでした。現在に1日利用客は2千人ぐらいだそうです。よく調べましたら J R の職員はいなくて委託されているため電話番号もない。切符売り場も停止の時間があり、フリーで入場してくださいとのこと。この駅の管理管轄は桑名駅です。また、貨物の列車も委託されています。外に出てびっくりしたのは警察の駐在所が無人化になっていたことは驚きです。警察に聴きましたが、人手がないとのこと、信じられない。ある女性の話では、夜、駅に迎えに来てもらう時は外では怖くておられませんので、改札の通路で待機するのだそうです。客引きの人がいる事が予想できますが、とにかく駐在所が空き家と言う事には驚きました。個人的に調査しましたところでは人手がない、問題がないという事ようです。兎に角、まずは J R 駅の活性化にどうすべきか問題提起をしたい。今まででも検討されているように聞いてますが、良い案が出ないようです。またその隣にはハローワークがあり、人が利用してますが、その隣に市営駐車場がありますが、ワークの利用者には割引がないため失業者にとっては有料で困っているという話が聞かれます。</p>

<p>総務常任委員会</p>	<p>11</p> <p>この地域には郵便局、市役所、福祉会館、本町プラザ、納屋プラザ、CTY放送局があり、このまちのあるべき姿、近未来像の拠点となる条件が多くあります。私はCTYに対してまちづくりにはマスコミが中心になるべきと考え、打診しましたところ、賛同の意を頂きました。この恵まれた出先機関が活かされていないのは残念だと思わざるを得ません。この町にある個性を生かしてこそこのまちづくりになる原点であると思います。</p> <p>このアイデアは実現が難しいとは思いますが考えました。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. まずは駅の改革を図る。関西線の高架とその上にマンションを造り、人が遊びに来れる、買い物ができる活性化した駅づくりからと思います。</li> <li>2. 貨物線があるため、名四国道からの往来ができない開かずの踏切が多いので、貨物線を海岸に移動する年間の貨物量は1千500万トンあると聞いています。そこの空き地を住居地区にして、大型のショッピングセンター・スポーツの興業、開催拠点とする設備の構築を図りたい。現在の四日市ドームや霞球場の利便性を考え、交換する、スポーツの興業企画促進して人を遊ばせる遊園地化する。</li> <li>3. 本町プラザやCTY放送局での興業企画を推進して集客力を図る。公共の利用を図り文化面の促進と集客力を図る。</li> <li>4. 四日市の商店街の催しをして、サービス精神で買い物ツアーを過疎地の救済をする。</li> <li>5. 国道1号線、名四国道、主幹道路の信号機の系列化で渋滞をなくす道づくりをする。</li> </ol> <p>住民からの意見を参考にした提案と問題点</p> <p>その1</p> <p>このJR四日市駅はバブル期からの計画として四日市市の再開発の一環で、近鉄四日市駅方面とを結ぶ中央通を四日市港まで延伸するとともに、駅を高架化し貨物施設は霞地区へ移転させる案があったが、移転場所は具体化しないままとなっているので、代案として考えると現在の四日市港は大型船が入港できないので現在は霞が利用されているので四日市ドームや球場を四日市駅の貨物線に利用できれば集客力のあるまちづくりとなるとと思います。</p> <p>その2</p> <p>駅横にある「四日市南警察署本町警備派出所」が無人化されて諏訪交番所が管轄しているが名称からすると無人化という事は理解に苦しむ。現在は派出所の前にある自転車の駐輪場となっていることから監視されている地元の人が在住されて周辺の掃除などの拠点として利用している。</p> <p>その3</p>
----------------	--

総務常任委員会	11	<p>地元の高齢者の方の話、昔は近鉄駅近くに諏訪駅があり利用していた。</p> <p>その4</p> <p>四日市の繁栄の基礎を作られた「稲葉三右衛門翁像」の場所が道路では名所として不適當であるので場所の選定を検討する。(性別、年代未記入)</p>
	12	<p>議案に大賛成です。</p> <p>図書館を含む複合施設が、行き交う多くの人々にとって魅力的で利用価値の高い場所になるように、周辺一帯を含めてさまざまな視点からの創意工夫を期待します。</p> <p>したがって、この度の設計図作成が各箇所複数個なされることは、たとえ相当の予算をかけても、より良いものを練って頂けることを考えた時、必要な投資と考えます。</p> <p>また、3地点に絞られた中に、近鉄四日市駅直結が入っていることをうれしく思います。というのも、図書館を「使用必要性の高さ」という観点から見た時、「学生」を中心に据えて考えてあげたいです。そして、学生のほとんどは、公共交通機関を利用するので、駅直結というのは理想的で、便利で安全だと思います。また、近鉄四日市駅は、海やコンビナートから比較的距離がある点で防災・減災の観点からも望ましいことや、県下一の乗降客数なので、複合施設の利用も含めより多くの方が活用できると思います。</p> <p>四日市市のだ真ん中に新図書館を含む複合施設を据えることは、「子育てするなら四日市」を標榜して様々改善し、定住人口を増やしていこうとされている四日市市の方針にも合致するのではないのでしょうか。</p> <p>以上、議案について大いに賛成の立場で述べさせていただきました。</p> <p>(60歳代 女性)</p>
	13	<p>図書館移転に反対である。図書館利用者は、図書館移転を望んでいない。</p> <p>「近鉄四日市駅に造ったらいい。」と、軽い気持ちで言う人はいる。</p> <p>しかし、駐車場はどうするのか。近鉄四日市駅に、図書館に加えて、図書館用駐車場を造る場所があるのか。そんな場所はない。結局、くすのきパーキングを使えという話になる。近鉄四日市駅に図書館を造るなら、空いている場所は西口前広場しかない。雨の日に、図書館で借りた重たい本を持って、小さい子どもの手を引いて、くすのきパーキングから、西口前広場の図書館まで歩けというのか。</p> <p>それは大変な苦行であり、難航の末、図書館で借りた本を濡らしてしまうだろう。そして図書館利用者は、本の弁償をしなければならないだろう。</p>

総務常任委員会	13	<p>図書館利用者の7割は、自動車で来館する。自動車での来館を考えたら、現在の図書館の場所で、駐車場を拡充する政策が最良である。</p> <p>現在の図書館は、近鉄四日市駅から徒歩12分で、駅からも近い。市立図書館前というバス停まであり、頻繁にバスが走っている。</p> <p>自動車利用者と鉄道・バス利用者の両方の利便性を満たすのが、図書館の現在の場所である。(40歳代 男性)</p>
	14	<p>今まで、久保田の図書館まで行けばよかったのに、どうしてJR四日市駅まで行かないと図書館を利用できなくするのか。なぜ、私たちにこんな不便を押しつけるのか。</p> <p>JR四日市駅が寂れたから、図書館利用者はJR四日市駅まで来いというのか。図書館利用者に一方向的に負担を押しつける、あまりにも自分勝手に、自己中心的で、幼稚な政策である。</p> <p>JR四日市駅が寂れたのは、市民の住まいが西側へ移動したからである。JR四日市駅を栄えさせたいなら、四日市港を埋め立てて、JRの東側に、人口10万人が住む人工島でも造らない限り、無理である。</p> <p>JR四日市駅が寂れたのは、政策の失敗ではない。人が住める土地が西側にしかないという、四日市市の地理的条件が原因である。</p> <p>それを図書館移転で覆すことは不可能であり、市民は大迷惑である。</p> <p>(50歳代 男性)</p>
	15	<p>図書館をJR四日市駅・市庁舎東広場・近鉄四日市駅のいずれかに移転する調査をしようというこの議案。</p> <p>この移転によって、保々、下野、八郷、大矢知、羽津、海蔵、三重、県、神前、桜、川島、常磐、日永、四郷、内部、小山田、水沢地区に住む住民にとって、図書館が遠くなり不便になるのに、これらの地区から選出されている市議会議員からなぜ反対の声が聞こえてこないのか、不思議でならない。</p> <p>選出地区のために働いてくれない議員など、不要である。</p> <p>現在の図書館の敷地は、JR四日市駅・市庁舎東広場・近鉄四日市駅よりずっと広いのだから、現在の図書館を改修・増築すれば、移転の必要はない。</p> <p>しっかりしてくれ、保々、下野、八郷、大矢知、羽津、海蔵、三重、県、神前、桜、川島、常磐、日永、四郷、内部、小山田、水沢地区選出の市議会議員さん！</p> <p>(40歳代 男性)</p>

	16	<p>今回の補正予算は、図書館利用者を中心市街地の「肥やし」としか考えていない。図書館利用者に対して、いかに便利で教育効果の高い図書館を提供するかという視点が全くない。</p> <p>図書館を中心市街地へ移転させることで、人の集まりが悪いイベントに動員をかけるように、人の集まりが悪い中心市街地に動員をかけている。これは、票の集まりが悪いこにゆうどう君に投票動員をかけた構図と、全く同じである。</p> <p>市民をこにゆうどう君に投票させる道具、中心市街地に金を落とさせる道具としか考えていない。</p> <p>市民に奉仕せず、逆に市民から搾取する、こんなにひどい市民不在の予算案は良識のある市議会議員の皆さまの手で、即刻、否決すべきだ。(50歳代 男性)</p>
総務常任委員会	17	<p>この議案は、四日市市立図書館移転調査議案である。</p> <p>しかし、議案名に図書館移転と書かれていない。なぜか。図書館移転と書くと、反対されるからである。図書館移転に自信がないから、図書館移転の名前を隠そうとする。これは、卑怯である。</p> <p>こんなコソコソとしたやり方に対して、予算を認めるわけにはいかない。</p> <p>議案の正体を隠して、市議会議員を騙して、予算を認めさせるズルいやり方を、市議会議員の皆様は、きっぱりと否決していただきたい。</p> <p>図書館利用者は、図書館移転など望んでいない。近鉄四日市駅から図書館まで12分で歩けるから、図書館を移転してほしいと要望したこともない。</p> <p>市民から求められていない、不要不急の事業を行うことは、【究極の税金の無駄遣い】である。</p> <p>こんな無駄遣いは、きっぱりと否決していただきたい。(40歳代 男性)</p>
	18	<p>図書館移転の調査に反対です。</p> <p>失礼ながら、市長さんや市議会議員さんは、今の四日市市立図書館を、あまりご覧になられていないのでしょうか。</p> <p>四日市市立図書館の児童室は、赤ちゃんから中学生位の子までが、楽しみながら、あるいはじっくりと、読書ができる本が揃っています。</p> <p>ここまで充実した児童用の図書館は、三重県内にありません。県立図書館の児童室よりも、四日市市立図書館の児童室の方が、広くて本も充実していて、内装も綺麗です。嘘だと思えば、今から津まで見に行ってください。</p> <p>数年前に市議会で、四日市市立図書館の児童室を改修する予算を認めていただいたから、三重県で一番の児童用図書室になりました。市議会の皆さんは、自分達が可決した予算のことを、お忘れになったのでしょうか。</p> <p>成人用の図書室も、昨年、吊天井を撤去して、より広々とした空間になりました。狭さは感じるので、南側の庭園部分に増築できると良いですね。</p> <p>お金をかけてきれいにした、県下一番の図書館なのですから、移転などしないで、まだまだ大切に使いましょう。(60歳代 女性)</p>

<p>総務常任委員会</p>	<p>19</p>	<p>図書館移転に反対です。</p> <p>図書館は、学びの場です。図書館で学ぼうとするお父さん・お母さん・子ども・赤ちゃん、大学生、社会人、高齢者等が図書館に望むことは、寂れた街の活性化のために、わざわざJRの、遠い図書館まで足を運ぶことではありません。</p> <p>生活の場にてできるだけ近い場所で、自動車で行くことができ、静かに落ち着いて本を読めることを望んでいます。</p> <p>いまだに、自動車は悪だという意識が根強く、「自動車に乗る人は贅沢だから、駐車場を遠くしたり、駐車料金を取って、不便にしてやれ。」という考えで、市政が運営されています。</p> <p>でも、軽自動車を中古で買い、遠出もせず、住まいの近くだけで生活することで、生活費を安くあげている人は沢山います。そんな慎ましい暮らしを送っている庶民にとって、今の図書館は、自動車・自転車でも鉄道・バスでも便利です。</p> <p>図書館がJR四日市駅や近鉄四日市駅や市役所横に移転したら、図書館利専用の駐車場が無くなり、駐車料金の高いくすのきパーキングから歩かされます。</p> <p>なぜこんな仕打ちを受けるのか、私たちは何か悪い事でもしたのだろうか、悲しい思いでいっぱいです。(50歳代 女性)</p>
<p>総務常任委員会</p>	<p>20</p>	<p>図書館移転の調査に反対する。</p> <p>今の図書館は、移転を迫られる状況にない。</p> <p>工場の周りが住宅に囲まれ、工場移転した話は聞くが、図書館のまわりが激変して、読書に向かない環境になってもいい。</p> <p>公共施設を移転させるなら、大多数の市民を納得させられる理由が必要なのに、図書館をなぜ移転する必要があるのか、行政からも議会からも一言も説明がない。</p> <p>図書館移転に関する市民コンセンサスが一切ない状況で、図書館移転の図面を描くために、2年間で650万円も使うことは、許されない。</p> <p>こんな市民無視の議案を成立させたら、市議会の信頼は地に堕ちる。</p> <p>協議図面を描く前に、図書館をなぜ移転しなければならないのかを、きちんと市民に説明し、大多数の市民が移転に賛成してから、図面を描くべきだ。</p> <p>なお、現在の図書館は、敷地面積が4,700㎡あり、JR四日市駅・近鉄四日市駅・市庁舎東広場のどの候補地よりも広い。指定容積率が300%で、床面積141,000㎡の図書館が建築可能である。近鉄四日市駅から徒歩12分と近い。</p> <p>よって議案の3候補地より、現在の図書館の敷地が最も優れており、図書館移転の必要はない。(50歳代 男性)</p>
<p>総務常任委員会</p>	<p>21</p>	<p>JR四日市駅直結エリアを第一候補として検討するのがベターと考えます。</p> <p>JR四日市駅周辺に図書館があれば、地域の再開発に資するのではないかと。(70歳以上 男性)</p>

総務常任委員会	22	<p>3カ所の候補地が図書館適地となった理由が明確でないと思う。新図書館は是非とも建てていただきたいが、この事業は中心市街地拠点施設と図書館とは別に考えて、場所の候補地を白紙に戻して考えていただきたい。</p> <p>3カ所に絞った候補地はいずれも敷地が狭く、安全面でも問題が多い。四日市が都会で建設場所が他にないのならともかく、図書館を高層建築物にするのは利用者にとっては使いにくいものになる。図書館は子育てには欠かせないもので、近隣の市の図書館のように緑あふれる敷地に、ゆとりのある駐車場を持つものであってほしい。イベントではなく、日常的に使う図書館は建物の近くに待つことなく、駐車出来、バスも走らせてほしい。また、東広場やJR四日市駅は海が近く危険。津波や液状化等も心配される。</p> <p>白紙に戻せないのであれば、現在の図書館の場所は、中心市街地拠点からややずれてはいるものの、今まで馴染んできた場所でもあり、周辺の敷地を見直せば高層階にしなくても、ゆとりある建物が建つのではないのでしょうか。駐車場も文化会館と共有することも出来ると思います。</p> <p>可能性調査の中に、現図書館の場所も入れていただきたいと切に希望します。</p> <p>(60歳代 女性)</p>
	23	<p>図書館移転の調査は、図書館利用者の利便や図書館を通じた社会教育の充実よりも、市街地活性化を優先したものであり、この議案に反対する。</p> <p>中部以外の図書館利用者が主に住む場所（常磐・海蔵・羽津・大矢知・八郷・下野・保々・県・三重・神前・川島・桜・水沢・小山田・四郷・内部・日永など）に近い図書館を市民から遠ざけて、JR四日市駅から近鉄四日市駅までの市街地活性化をもくろんでいる。</p> <p>「図書館で本を読みたいなら、JR四日市駅へ移転する図書館までやって来い。」というやり方は、「トヨタの車を買いたいなら、豊田市まで買いに来い。なぜなら、豊田市を活性化するためだ。」というやり方に等しい。</p> <p>顧客（図書館利用者）の利便や社会的使命（社会教育）をないがしろにして、会社（行政）の都合（市街地活性化）ばかりを優先させることは、民間企業では考えられない。顧客無視のこんな会社は、顧客が離れて会社が潰れる。</p> <p>行政は倒産しないことをいいことに、市民の利便や行政の使命を無視して、市街地活性化を望む行政の都合ばかりを優先させている。許せない！（40歳代 男性）</p>
	24	<p>近鉄駅前とJRの間の利用 昔の賑やかな駅前を取り戻す。</p> <p>JR四日市駅周辺の復活。図書館を中心に、若者を集める。</p> <p>駅前に学校を誘致（四日市大学等）</p> <p>(60歳代 男性)</p>

総務常任委員会	25	<p>図書館の移転先として、JR四日市駅も近鉄四日市駅も市庁舎東広場も失格である。なぜなら、3箇所とも、図書館利用者のための十分な専用駐車場を用意できないからである。</p> <p>駅に直結した図書館を造るから、図書館専用駐車場が無くてもよいなんて、行政の勝手すぎる理屈である。</p> <p>駅に直結した近鉄百貨店も、百貨店専用駐車場を持っているではないか。市役所だって、市長専用・議員専用・業務車専用の駐車場を持っているではないか。</p> <p>自分達だけ車を乗り回しておいて、市民には自動車利用を禁じたり、不便な駐車場をあてがうなんて、不平等・不合理・図書館利用者いじめだ。</p> <p>文化会館も市立病院も中央緑地も、公共交通だけで行くことができるが、専用駐車場を用意している。公共交通にも自動車にも、両方目配りしている。</p> <p>なぜ図書館だけ、図書館専用駐車場を用意できない場所へ強制移転しようとするのか。</p> <p>本議案には、断固反対である。(40歳代 男性)</p>
	26	(別紙)
	27	<p>可能性調査費経費について3,100千円について反対です。</p> <p>四日市市は「庁舎東側に建てたい！」が為の調査に思えます。</p> <p>市民には図書館建設についての計画が周知されておらず、計画自体知らないのが現状と思います。</p> <p>「どんな図書館を望むのか？」小中学生から高齢者まで意見を聞き、それから建設場所選定に向けて進めて下さい。</p> <p>図書館は市民にとって大切な施設です。</p> <p>今回の市庁舎東側広場を含む3か所ですが、市側の何としても市庁舎東側に建築したいという思惑が見て取れます。</p> <p>なぜ、市庁舎東側に固執するのかよくわかりません。現在、市役所ロビー改築中ですが、そのための資材置き場となっており、これからも予想される改築などの資材置き場として、また、災害が起きた時の広場として残しておくべきです。</p> <p>四日市市の人口は西へと重心が移動しています。それは行政もわかっていると思います。わざわざ人口減少の地域に建設するのはおかしい。市が定める中心市街地活性化地域がこれからも発展するとは考えられません。</p> <p>中央図書館としては郊外型の図書館を望みます。(駐車場が広く、建物も平面的2・3階建て)</p>

総務常任委員会	27	<p>そして、各地域に分館図書館を望みます。現在は2館、楠図書館、あさけプラザ（厳密には四日市市の分館ではない）30万人都市として余りにも不十分。</p> <p>中央図書館が図書館して少し遠くても分館・移動図書館が充実していれば市民は理解すると思います。</p> <p>現在の図書館も改築、（隣の葬儀場も市が買い取り）整備する事も大いに考えられます。長年の願いの新図書館建設が利用されなくては大きなコンクリートの箱です。四日市市民の意見が反映された誇れる図書館建設を切に望みます。</p> <p>管理運営なども関心がありますが、まずは建物建設についての意見です。</p> <p>（60歳代 女性）</p>
	28	<p>まずは調査を行うことに先が見えてくるので、結果しだいの決議を。</p> <p>学生に使いやすい学びの場を希望します。（40歳代 女性）</p>
	29	<p>「中心市街地拠点施設整備基本計画」は四日市市の一大事業です。</p> <p>何年もかけて作成された計画ですが、未だ市民に周知されている計画とは思えません。定期的な広報等必要だと思います。</p> <p>数値にて、一般市民にも理解できる内容で、調査結果をまとめることが大切だと思います。（70歳代 男性）</p>
	30	<p>中心市街地拠点施設整備事業費（可能性調査検討経費）の目的には、市庁舎東側広場外2候補地を対象として可能性調査を実施するとしたのち、調査は、基本計画の機能や規模を前提として、・・・立地場所の選定に資するもの、としています。</p> <p>ここでいう機能とは、ICTにも対応した滞在型図書館機能で、その規模は6,800㎡です。</p> <p>市は、拠点施設における図書館機能のあり方や規模の概要として、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 所蔵能力は現状の2倍程度で、80から90万冊。</li> <li>・ 閲覧席・学習席は現状の3倍程度で、500から700席</li> <li>・ 開架冊数も現状の2倍程度で、30から40万冊と、提示しています。</li> </ul> <p>1 基本計画でいう機能や規模は（立地場所又は拠点施設整備）の前提になるのでしょうか。</p> <p>① 拠点施設での図書館規模6,800㎡（床面積）は、施設の中高層化で確保できますが、天井が高く広い空間としての図書館建築を損ないかねません。</p> <p>② 図書館の規模が6,800㎡では狭いです。</p> <p>6,800㎡プラスあさけプラザ図書館と楠の交流館図書室で、望ましい基準をクリアするとの市の説明では、新たな問題が起こります。そもそも、誰もが身近かに利用できるよという図書館システムの構想が基本計画にはないのでから、何をか言わんやです。</p> <p>また、その狭さは深刻で、3階から7階では際立ちます。基本計画に示された、</p>

成人エリアの開架図書数 15 万冊、閲覧席 250 席を図面に配置すると明らかです。  
 閲覧空間の余裕のなさは、図書館の将来を制約します。

このことから、市役所庁舎東側広場は利用しにくい駐車場と相俟って、拠点施設候補地としては不適といえます。

③ 基本計画にも、注目すべき指標はあります。

市民への図書貸出し冊数を一人当たり 10 冊（四日市市は現状 2.9 冊）にするというのが、それです。この基準値には、どのような図書館（豊富な資料、意欲のある司書と活発なボランティア活動）を、いつまでにつくりあげていくのかという、主な指標になるものです。

つまり、図書館施設はサービスの内容や活動に合わせてつくられるもので、逆ではないのです。図書館のあり方「使い方、使われ方」の議論が、もっとも必要と考えます。

④ 補正予算はコンサルへの委託料だけでなく、図書館の「機能と規模」について検討を深める「図書館専門部会」への報償費など、事業内容を修正できないでしょうか。

2 基本計画について、市民等に公表・説明するのに支障があるのでしょうか。

先の 8 月議会で、補正予算の「可能性調査検討経費」に対する修正案が、多数の議員の賛成で可決されました。

基本計画の策定以後、市議会の常任委員会などで議論されることもなく、市民への計画の公表や説明も行われてこなかったことを問題としたのが修正案であった、と理解しています。

① 市は、市民に対し基本計画を公表し、その「内容を明確かつ平易に説明する」（四日市市市民基本条例第 8 条 説明責任等）必要があります。公表しない根拠や理由はないものと理解します。

② 「基本計画の機能や規模」については、公表すべきではありませんか。拠点施設整備の前提としているのですから。

③ 説明責任・市民参加の実施が市政運営の基本であるならば、何よりも図書館の住民参加制度としての図書館協議会への諮問と意見具申は尊重されるべきです。

④ 平成 29 年 6 月、図書館協議会は新図書館について意見書を発出しています。図書館は「市行政の直営を基本とすること」が、意見書の内容です。今回の補正予算でも管理運営費の算出を検討内容としています。管理運営体制の比較が民間への管理委託等ということに、突然なっていないか、危惧しています。

ここでも、図書館協議会の議論や意見書を重く受け止めてほしいのです。

(60 歳代 男性)

## 11月定例会議会における議案に対する意見募集に寄せられた意見

No.2 楠地区認定こども園設計業務委託費（債務負担行為）について	
教育 民生 常任 委員会	1 <p>障害を持つ子供にも広く対応してほしい。 国際的な社会の傾向が強くなる中、子供を強く育てるこども園。 幼稚園と保育園の統合はさらに進むと思います。速やかな対応をお願いします。 (60歳代 男性)</p>

## 11月定例月議会における議案に対する意見募集に寄せられた意見

No.3 四日市市税関係手数料条例の一部改正について（議案第 60 号） 四日市市戸籍関係等手数料条例の一部改正について（議案第 61 号） 四日市市印鑑条例の一部改正について（議案第 62 号）	
総務 常任 委員会 ・ 産業 生活 常任 委員会	<p style="text-align: center;">1</p> <p>手数料条例の改定については問題ありません。ただ、個人番号カードを持っていない者も多いと思われます。市民の便宜を図るのであればコンビニ交付サービスにおいて、個人番号カード以外の物（例えば、運転免許証、指認証）でも発行可能なシステムを希望します。（70 歳以上 男性）</p>
2	<p>高齢者にコンビニ利用は、不安。</p> <p>コンビニ等に設置の多機能末端機の使用に、69 歳の自分ですが、本人自らで操作に大変不安有り。コンビニで丁寧な説明、対応はむつかしいのでは？</p> <p>高齢者は、マイナンバー制度にも不安あり。（60 歳代 男性）</p>

## 1. 意見趣旨

本予算議案に、反対です。

## 2. 理由

### (1) 図書館利用者や四日市市民の分布を踏まえるなら、図書館を現在地から移転すべきではありません

図書館は、「住民の生活圏、図書館の利用圏等を十分に考慮し」て設置することとされており（「図書館の設置及び運営上の望ましい基準（平成 24 年 12 月 19 日文部科学省告示第 172 号）」）、四日市市民の人口重心が大井手～生桑付近にあることや四日市市立図書館の利用者が多い地区が、羽津・海蔵・三重・中部・常磐・川島・四郷・日永・内部等の地区である（「平成 30 年度四日市市立図書館概要」）ことを踏まえると、これらの地区の中心である現在の場所（久保田）から移転させるべきではありません。

### (2) 四日市市民の居住地を考えるなら、活性化すべき中心市街地は近鉄四日市駅より西側です

市役所周辺を活性化するために、起爆剤として四日市市立図書館を市庁舎東広場へ移転することが計画されました。そして本議案では、近鉄四日市駅直結エリアと J R 四日市駅直結エリアが新図書館の候補地として追加されました。

そこには一貫して、近鉄四日市駅から J R 四日市駅までのエリアを活性化したいという意思が底流に流れています。

しかし中心市街地は、一体誰のためにあるのでしょうか。四日市市民に対して、商業・娯楽・憩い・学び・出会い等を提供する、つまり四日市市民に対してサービスを提供するために、中心市街地は必要とされているのではないのでしょうか。

そうであれば中心市街地は、サービスの提供相手、すなわち四日市市民の居住地の移動に伴って、その場所を変えていくことは、何ら間違ったことではありません。お客さんの近くで商売することが、「店住近接」となり、商売主にとっても、お客さんにとっても、利便を向上させ、生活を豊かにするのです。

商業・娯楽・憩い・学び・出会い等の場合は、明らかに近鉄四日市駅より西側へ移動しています。

国道 1 号線沿いまでは、市内各地からお客さんが来ますが、それより東側の三滝通りや J R 四日市駅までは、地元在住の人は利用しても、市内各地から来るお客さんは少ないのが現状です。

一方、近鉄四日市駅より西側の、西浦通り、図書館通り、中川原通り、湯の山街道、松本街道等には、その沿道の店舗や飲食店等に市内各地からお客さんが来ています。

この現状を「悪」として、三滝通りや J R 四日市駅まで人を来させるよう、図書館を移転させる等して、行政がテコ入れすることに、果たしてどれだけの公益性があるのでしょうか。

中心市街地が西へ移動すれば、市民の住まいと中心市街地とが接近し、「店住近接」や「職住近接」が実現します。その結果、市民の移動距離や移動時間が減り、移動エネルギー消費量も減って、エコな都市が実現するのです。

現在見られる、中心市街地の西への移動は、市民にとっても、環境にとっても、良いことではないのでしょうか。

図書館を東側へ移転して、この時計の針を逆に戻すことに公益性があるのか、極めて疑問です。

現在の図書館がある場所は、近くに店舗や飲食店が立地して中心市街地として発展しつつある区域で

あり、図書館を移転せずに、このエリアを発展させることが、市民の幸せにつながると考えます。

### (3) コンパクトシティやスマートシュリンクは、市民の移住ではなく、中心市街地の移動で実現すべきです

コンパクトシティの必要性が叫ばれ、平成 30 年 11 月 25 日開催の総合計画キックオフシンポジウムでは、スマートシュリンク（市街地を賢く畳む）の考え方が紹介されました。

コンパクトシティやスマートシュリンクを実現する方法として、郊外に住んだ市民を中心市街地へ移住させることが提案されます。

しかし、郊外の戸建て住宅を手放して、中心市街地のマンションへ移住する市民がどれだけいるでしょうか。

高齢者は店舗まで歩いて行ける中心市街地に移り住む、と言われた時期もありましたが、介護サービスや移送サービス、無店舗販売（インターネット注文）等の充実で、郊外でも住み続けられる環境が整ってきました。

以前の既存宅地制度を利用した、数戸だけの「市街化調整区域ミニ開発」等は、スマートシュリンクすなわち、市街地を賢く畳む対象とすることも考えねばなりません。長年の歴史を刻んできた集落や、大型住宅団地等は、畳むのではなく、維持していくことが重要であり、現実的です。

よって、コンパクトシティやスマートシュリンクを政策目標として掲げても、本市の人口重心は今後も、大井手～生桑付近にあり続けると考えられます。

このような状況で、コンパクトシティやスマートシュリンクを実現するためには、「市民の移住」ではなく、「中心市街地の移動」で実現すべきです。

中心市街地が、人口重心の大井手～生桑付近に近づいていくことで、住まいと店舗や職場が近づき、移動エネルギーが少ないエコシティが実現するのです。

よって、現在の図書館を移転せず、「中心市街地の移動」によって、コンパクトシティやスマートシュリンクを実現する拠点として活用すべきです。

### (4) 国道 1 号線以東の市街地のあり方

近鉄四日市駅より東側の市街地、中でも国道 1 号線沿道より東側の元気がないので、なんとかしたいという思いが、図書館の市庁舎東広場や JR 四日市駅への移転案となったものと思われます。

しかし、全市域から市民を集める機能をこのエリアに整備すべきかは疑問です。

(2)・(3)で述べたように、中心市街地は西方向へ移動しており、これは市民の利便性向上やエネルギー消費量の低減の面から、理にかなった都市の変化です。

市議会議員の皆さんも、議会が無い日に、三滝通りや JR 四日市駅まで買い物に来られますか？ ご自身でも買い物に来ない地域を、中心市街地として育てるために、公金を投じる必要があるでしょうか。

そこで国道 1 号線沿道より東側には、全市域から市民を集める機能ではなく、この地域に住み続けられるように、地域住民向けの商業機能（現在、三滝通り沿いに立地している一号館やバロー等）や教育機能（中央小学校等）を確実に維持することに、努力を傾注する必要があります。この地域の教育課題は、1 学年 1 クラスしかない中央小学校の存続であり、図書館誘致ではありません。

この地域が四日市発祥の地であることは十分承知していますが、そのことは鳥出神社の鯨船行事のよ

うに、文化政策として記録・伝承すべきであり、保々や水沢など遠くの市民まで巻き込んで、本市の中央図書館をこの地域へ無理やり引っ張ってくるのは、行き過ぎです。

また、親しまれる四日市港の実現のために、中心市街地を四日市港方面へ延長すべきだとの考えもありますが、そんな広範囲に連続する中心市街地は、四日市市のみならず北勢地域の人口規模をもってしても、実現は困難です。

中心市街地の東端は、国道1号線沿いまで及び中央通り沿いに限定したJR四日市駅までで一旦区切り、四日市港（千歳地区）は「飛び地の中心市街地」として整備すべきだと考えます。

#### **(5) 図書館の市街地活性化効果は限定的です**

近鉄四日市駅からJR四日市駅までを活性化させるスター選手として図書館が期待されているようですが、図書館の市街地活性化効果は限定的です。

書店へ行って図書を10冊買うことはあまりありませんが、図書館へ行って図書を10冊借りることは頻繁にあります。（1枚の貸出券で10冊まで借りられる。）それどころか、親子がそれぞれの貸出券を使って、20冊30冊と借りていく方もみえます。

だから図書館へは、重たい図書を運べるように、自動車で来るのです。図書館を出る時には、多くの図書を抱えていることが多く、借りた図書を持って中心市街地を回遊することは困難です。図書館来館者が中心市街地を回遊して街にお金を落とすというのは、幻想にしか過ぎません。

よって、図書館を市庁舎東広場やJR四日市駅へ移転して、図書館利用者を近鉄四日市駅からJR四日市駅までのエリアを回遊させようとする企みは、失敗します。単に、自動車交通を呼び込んで、道路や駐車場の混雑を惹起させる結果に終わります。

このように、図書館を市庁舎東広場やJR四日市駅へ移転する政策効果は、ほとんどありません。

#### **(6) アセットマネジメントの観点から、現在の図書館建物を延命すべきです**

現在の図書館建物は、昭和48年に建築された、鉄筋コンクリート造です。同じ時期には、四日市市役所本庁舎が完成しています。

鉄筋コンクリート造の法定耐用年数は47年ですが、これは減価償却上の数字です。メンテナンスをしっかり行えば、100年間もつとも言われています。

四日市市立図書館は、立山連峰の室堂ターミナルホテルや東京オリンピックの駒沢陸上競技場、東京国際貿易センター等を設計した、四日市市出身の建築家：村田政真が設計しました。

村田政真は、当時、ホテルでしか使われていなかったカーテンウォールを、四日市市立図書館において初めて公共施設に採用し、明るく開放的な吹き抜け空間を図書館に創り出しました。そんな建築史上エポックメイキングな建物が、四日市市立図書館なのです。

このような建築的な価値があり、100年間もつ構造を持った四日市市立図書館の建物を放棄して、他所へ移転させることは、よほどの環境悪化、例えば、大きな騒音・振動を発生させる工場が図書館の隣に建設されて、読書できる環境ではなくなった等が無い限り、行うべきではありません。

むしろ、郷土出身の名建築家を再評価する先頭に本市が立ち、「村田政真記念室」を図書館の中に作り、本建築家の建物を長く保存・活用して、シティプロモーションの拠点としていく、攻めの姿勢が求められるのではないのでしょうか。

現在の図書館建物は、地震に対して安定している低層の直方体形状であり、耐震診断もクリアした、鉄筋コンクリート造の頑丈な建物です。建物躯体は、今でもまったく問題がありません。

児童図書室は数年前に全面的なリフォームが施され、最近の新図書館と比べても引けを取らない、明るくて現代的な図書室として生まれ変わっています。

児童図書室に施したリフォームを、大きな吹き抜け空間を持つ成人図書室にも施せば、新図書館と見間違えるくらい、美しい空間となるでしょう。

司書をレファレンス等の高度業務に集中配備するために、図書自動貸出機等の省力機械も導入したいところです。

そこで、現在の図書館建物に内装や設備の徹底したリフォームを施し、建物寿命延命化と最新化を図るべきだと考えます。その方が、図書館を移転するより、はるかに安価で、教育環境の改善を図ることができます。

それが、アセットマネジメントの思想に通じる道だと考えます。

#### (7) 四日市市立図書館は駅から遠くありません

四日市市立図書館は駅から遠いというイメージが刷り込まれ、そのことが、図書館移転論議の一因になっています。

しかし、近鉄四日市駅から四日市市立図書館までは、徒歩 12 分です。

近鉄四日市駅から四日市市文化会館まで歩く人をよく見かけますが、徒歩 10 分です。(いずれも市ホームページ記載の数字。)

文化会館まで 10 分間歩いて、あと 2 分間、図書館まで歩くことが、そんなに苦痛でしょうか。この 2 分間は、図書館移転という多額の公共投資を行ってまで、短縮しなければならない時間でしょうか。

文化会館第四駐車場は、文化会館から図書館の前を通った、その奥にあります。それくらい、文化会館と図書館は近くにある施設であることをもっと効果的に PR すれば、図書館が駅から遠いというイメージは払拭できると思います。

#### (8) 図書館利用者の 7 割は自動車での来館であり、無料の駐車場を潤沢に用意できる場所に図書館を整備すべきです

四日市市(というより中京地域)は、移動手段に占める自動車の割合が大きく、そのことが公共交通機関の発達を阻害しているという議論は、以前から行われてきました。

今般の図書館移転も、その議論の延長線上にあり、駅に図書館を併設すれば、鉄道やバスに乗って図書館へ来るようになり、公共交通の利用促進にもなると考えられている節が伺えます。

ではなぜ、駅に直結した近鉄百貨店に、立体駐車場が併設されているのでしょうか。それは、公共交通の限界(ドアトゥドアではない、即時性がない等)を鉄道会社自らが認識し、自動車の排除は現実的ではないと考えているからです。

我々は、技術開発等により、自動車のエネルギー消費量や空間占有面積の低減及び安全性向上を図りながら、ドアトゥドアや即時性といった自動車交通の良さを活用していくべきだと考えます。

四日市市の全移動に占める自動車の割合は、6 割 5 分です。(「四日市市都市計画マスタープラン全体構想基礎資料」より) 四日市市立図書館への来館者に占める自動車の割合は、7 割です。図書館利用者が自

自動車を利用しがちになる理由は、(5)で述べました。

この状態を「悪」と考えて、駅直結型の場所へ図書館を移転して、公共交通利用者を優遇し、自動車利用者を冷遇しようと目論むことは、短絡的です。

公共交通利用者は運賃を払っているのだから、自動車利用者も駐車料金を負担すべきだ、という意見があります。

しかし自動車利用者は、自動車税やガソリン税を払っているのだから、運賃を負担する公共交通機関利用者とのバランスは取れていると考えます。運賃を払わずにタダで移動しているかに見える自動車利用者は、しかるべき負担をしているのです。この上さらに、駐車料金まで負担せよとは酷です。

また、「公共交通機関利用者＝貧者、自動車利用者＝富者。よって自動車利用者からしかるべき負担金を徴収せよ。」という見方も間違っています。

公共交通が利用できる地域は地価が高く、自動車しか利用できない地域は地価が安いので、「公共交通機関利用者＝富者、自動車利用者＝貧者」という図式も存在します。公共交通が無い不便な場所で、中古の軽自動車を安く買い、狭い範囲でつましく暮らしている自動車利用者が、貧者であることも多いのです。

だからこそ、自動車利用者から駐車料金を徴収しないと成り立たない場所に公共施設を整備することは、避けるべきなのです。

近鉄四日市駅直結の図書館は、地価の高さや図書館来館目的以外の人まで駐車場を利用することを考えて、自動車来館者から駐車料金を徴収せざるをえないでしょう。そのことが、貧者を苦しめることに気づいていただきたいと思います。

図書館利用者の7割は自動車での来館であり、無料の駐車場を潤沢に用意できる場所に図書館を整備すべきです。

図書館の所在地なら、無料の専用駐車場を図書館の横に用意することが可能です。しかし、近鉄四日市駅直結エリアや市庁舎東広場やJR四日市駅直結エリアは、無料の図書館専用駐車場を用意することができません。この3箇所では、駐車場は有料となりますし、そもそも空間に余裕が無いので、図書館専用駐車場を整備することすらできません。

これは、図書館利用者の7割に背を向ける、行政サービスの大幅な低下です。

#### (9) 図書館には、広い平面形状が確保できる敷地が必要です

現在の図書館は、敷地面積が約 4,700 m<sup>2</sup>あり、都市計画で定められた容積率が 300%のため、床面積 14,100 m<sup>2</sup>まで建築できます。

現在の図書館の床面積が約 4,100 m<sup>2</sup>なので、その3倍の規模の図書館を、現在の敷地で建築できるのです。

JR四日市駅直結エリア・市庁舎東広場・近鉄四日市駅直結エリアで想定される敷地面積は、約 2,000 m<sup>2</sup>前後とされますので、その2倍の敷地面積が、現在の図書館にあることを、まずご認識いただければと思います。

なぜ、敷地面積が半分に減る場所へわざわざ図書館を移転するのか、大いに疑問があります。

なお、敷地面積が狭くても、都市計画で定められた容積率が大きければ、高層化することで、図書館に必要な床面積は確保できると反論されるかもしれません。

しかし図書館は、総合会館や本町プラザのような、オフィスビルや貸館とは異なる床構成が求められます。

オフィスビルや貸館であれば、同一階に納めるべき部屋は多くなく、むしろ細かく階で区切られている方が、他者と分離できるため、テナント募集や貸館利用者にとって便利なことがあります。

しかし図書館は、細かく階で区切られていると、大変不便です。

図書館の図書は、日本十進分類法に従って分類されており、一見、ピンポイントで図書を探しに行ける、すなわち細かく階が分かれていても大丈夫なように思われがちです。

しかし例えば、道路について調べる場合、「0：学術雑誌」「2：歴史・地理」「3：法律」「5：建設工学」「6：運輸・交通」「9：評論」等と、広範囲に跨ります。図書分類は0～9までであるため、全分野の分類を見ていく必要があります。

その都度、階を移動していたら、大変不便です。車椅子利用者等であれば、たとえエレベーターが整備されていても、かなりの負担です。

だからこそ、最近整備された図書館では、2階までに抑えて、利用者の上下移動を極力少なくしているのです。(岐阜市中央図書館、岡崎市中央図書館、等)

図書館は、ビル型にすべきではありません。

ビル型にせざるを得ない、JR四日市駅直結エリア・市庁舎東広場・近鉄四日市駅直結エリアのいずれも、図書館の敷地には向いていません。

#### **(10) 現在の図書館の隣接地である久保田公園やJAみえきた虹のホール跡地を合わせて再整備し、文化会館の駐車場機能も有する新図書館を整備すべきです**

現在の図書館敷地でも、現在の3倍規模の図書館を整備できます。

しかし規模を拡大できても、駐車場の配置が窮屈になりますし、現在の図書館建物を工事する間、図書館が利用できなくなります。

そこで、現在の図書館に隣接する久保田公園やJAみえきた虹のホール跡地を合わせて再整備し、駐車場を合理的に配置するとともに、文化会館の駐車場機能も有する新図書館を整備すべきです。文化会館の慢性的な駐車場不足は限界であり、図書館敷地を拡大整備する中で、この解決も同時に図るべきです。

具体的には、

- ① 現在の図書館敷地の北側と南側に増築し、図書館の床面積を現在の2.5倍程度に拡張する。
- ② 図書館工事中は、JAみえきた虹のホールの旧建物を使って、仮設図書館を開き、工事中でも図書館を利用できるようにする。
- ③ 増築した図書館が開館した後、JAみえきた虹のホールの旧建物を取り壊し、現在の図書館敷地、久保田公園、旧JA敷地の3つの市有地を一体の敷地にするために、3敷地の境を通過している市道を敷地西側に付け替える。
- ④ 旧JA敷地には、図書館と文化会館の利用者が利用できる、十分な駐車台数を持った立体駐車場を整備する。
- ⑤ 図書館敷地の北側にあった庭園機能を、隣接する久保田公園が担えるように、増築後の図書館と久保田公園が連続するような整備を行う。

という段取りになります。

なお、旧 J A 敷地の取得が難しい場合、立体駐車場を地権者に整備してもらい、それを市が借り受ける方法もあります。その場合、市道の付け替えは不要かもしれません。

このように、

- ① 市が持っている土地を活用できる。
- ② 民間活力を活用した駐車場整備も可能。
- ③ 頑丈で名建築の図書館建物を活用できる。
- ④ 図書館と文化会館の政策課題を解決できる。
- ⑤ 平面形状が広くて使いやすい図書館を整備できる。
- ⑥ 利用者の居住地に近い場所で、新図書館を整備できる。
- ⑦ 公共交通利用者も自動車利用者も便利な場所で、新図書館を整備できる。

というメリットがあります。

図書館の現在地での再整備を、ぜひとも検討すべきだと考えます。

以上

(50 歳代 男性)